

# オールキャスト・レビュー キャンンポラー'sマシンCheck!!

室内もグリーンで統一。ダッシュボードは実用タイプのロールケージが気合が入っている。



## ゼッケン①

### RE雨宮super G7

ドライバー:雨宮 勇美  
ナビゲーター:小宮川 淳

クラスも違えばチューン度も違うそれぞれの出場車。勝ちねらいなら、もちろんGT-Rだ。しかし、キャンポールの魅力はそれだけじゃない。まだ、行ったことのない土地に向け、全力で走り出すその胸の高まり……。渡る冒険スピリッツ、それが最大の魅力なんだ。勝ち負けだけがすべてじゃない。それぞれの思いを込めた、それぞれのエントリーマシン。キミもじっくり鑑賞してくれ。

雨宮エアロフル装備のセブン。ツリーリング区間でフルスロットルが楽しかった。



## 純正シーケン改 ツインターボの 湾岸&ストリート仕様

ボディ、内装ともども、全身グリーン。雨宮セブン。速く走れて、目立って、モテる、いかにも雨宮流の作りだ。

エンジンはノーマルのタービンとEXマニを流用、シーケンシャル制御用のアクチュエーターを殺し、単純にツインターボとしているのだ。

ここにインタークーラー、パワーエクスパンダー、マフラー、レスポンスクリナー、CPなどのオリジナルパーツをつぎ込み。最

大ブースター・0kg/0時分に360PSを発生している。

外観は雨宮さん自慢のオリジナルエアロをフルに装着。バンパーにはインタークーラー用のエア導入に穴を開け、ダクトを導いている。これが効いて、最高速は285km/hを記録している。

キャンポールの装備は、なんとタイヤバンク修理剤だけ。「ボクのは壊れないからネット」って雨宮さん、それはちょっと凄すぎるんじゃないですか？



「ボクはね、公道走るほうが好きだから、別に競技用のパーツはいらないの。だからこれだけ」って雨宮さん……。



ライトチューンだが、インタークーラーへの送風タクト、RE Super Gのステッカーの貼られた部分が決める。

## ゼッケン②

### エスプリS14シルビア

ドライバー:前川 勝  
ナビゲーター:北村 欣史

ナビの北村くんは、ミッションOHや、マニホールド製作など、器用さを要求される作業に強い。以前話題になったビート・ターボも北村くんが作ったのだ。

## オーバーオールねらいの 最高速シルビア

三重県のエスプリも気合が入っていたシヨップ。なんたって、デフを2種類用意して、ストリート用、最高速用と分けて使おうと、そのためのデフ交換の練習もしたくらいだ。しかし、いざクルマにデフを積もうとすると(キャンポール精神を貫くため、車載の工具とパーツのみ使用し、ドライバ

ーとナビのふたりだけが作業できるというルールのため)大きすぎて、スペースがなくなってしまうため、最終的には最高速仕様を選んだの出場となった。

仕様はTD06・25Gタービンや大型のインフィニティ用スロットルなど、500ps以上、最高速302km/hの実力。



こちらは、ギヤ比の低いデフを1個積んでくる予定だったが、思いのほかスペースを取ってしまうので、近く近くオイル類&工具類だけにしたのだそう。



とっても狭い目な室内。でも300km/hオーバーしちゃうんだな(OPT'94年12月号参照)、これが。



エンジンは最高速仕様のまま。ラジエター後ろのアルミの筒はブローパイプのコレクタータンク。スペースが空いて寂しいので作ったという噂だ。



## ゼッケン③ HKS関西サービス ランサーRSエボリューション

ドライバー:向井敏行  
ナビゲーター:島田和久



ナビの島田和久はHKS関西のランサー担当主任。開発、コンピューターセッティング、データ取りなどなんでもこなす。

**HKS関西の心意気仕様はあくまで、まんまストリート**

「あくまで普段使用しているそのままの状態に参加することに意義がある」と、優勝向井。そしてランエボはキャンボールのために特別なことはせずに参加、見事に走り抜いた。

クルマ自体は以前のままだが、今回はリップと、リヤスポイラーが新しくなっている。

HKSコンカムに、メタル強化ガスカート、強化フューエルポン

プ、オリジナルフロントパイプ、リーガルマフラーなどを組み込み、F-CON、GCCIIなどで制御、他はすべてノーマルだが、350psを発生している。以前と異なる部分は、エアフロレスのVPC仕様から、細かいアクセルワークに向いているエアフロを使用のレジエトロとなっている点と、ROMを、レブリミッターありと、なしの2種類用意したことだ。



夜間のトラブルに備え、蛍光灯も持参。タイヤも2本、「いっぱい積めますランサーは。」

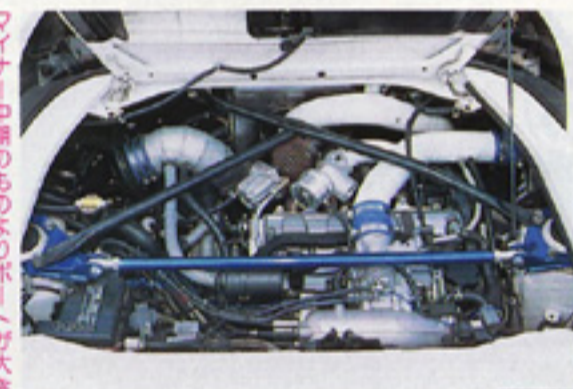


室内もほぼノーマルだが、センターコンソールには、1Pモニターなど各種メーターが入る。オーディオがなくても寂しくないのだからか?



一見、ノーマルだが、350psを振り出す、ターボのコンプレッサーの吸気を持つ直ぐに回るため、パワーフローとバッテリーをノーマルとは別に配置している。

足まわりもストリート用だった。問題となりそうなターボでは、ウェットだったおかげで特に苦労はなかったようだ。



マイナー中期のものよりポートが大きいなど、現行の3SGはヘッドが進化しているのだが、含み物とばかり思っただけ、マイナー中期のエンジンでEXマニの製法をしてみたい。それでも速かったのはエライ!

## ゼッケン④ ガレージ福井SPL "打倒シルビア"MR2

ドライバー:横山耕治  
ナビゲーター:巨橋徹也



「これからはMR2だ!」という路前屋・横山。ナビのシングルベル巨橋は、新しい外見とは裏腹になんでもオマカセの頼りになるメカ。

**ゼマシ、最高速ならいめ T04Sの高回転パワー**

MR2なのに、ジムカーナやサーキットならいではなく、ゼロヨン&最高速仕様ってのが、ガレージ福井らしい。得意分野に照準を定めるってのも、割り切りのひとつ。でも、曲がるのが苦手な横山さんにとっては、コイツがストリート仕様なのだ。

エンジンは高回転パワーならいで、T04Sをチョイス、試作カムとHKS鍛造87φ鍛造ピストン、マインズCP+F-CON(オリジナルROM)などで、現状で約500psが、マイナー中期の3SGから型取りしたEXマニホルドと、フロントパイプが、現行3SGのヘッドに合わせ、さらに時間が迫っていたのでそれを流用して、無理やりくっつけてしまった。「仕上がりはとっても不満です」という横山さんだ。

しかし室内はお得意のレカロ、&サンスイオーディオで長距離もバッチリ。加えてGPSも装備した、快適キャンボール仕様なのだ。



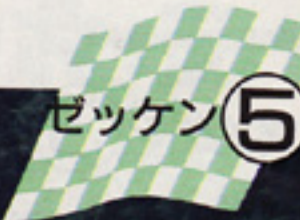
トランクにウォータータンクや燃料ポンプを搭載してしまったため、車載できたのはたったこれだけ。



快適クルージングを目指したGPSオーディオだが、車の左側にはレカロ・サンスイオーディオがハイテク。快適キャンボールはなんでもオマカセの頼りになるメカ。



ドライバー兼ナビのPマン北原。最後まで、たったひとりで走りきった(エライ!!)。非情なまでに過酷な試験だったが、きつと報われることもやっぱりないだろう。



## 圭オフィスS14シルビア

ドライバー:北原慎一  
ナビゲーター:北原慎一



ストリートそのまま仕様、でも、足まわりには自信アリ



約300psを発生するエンジンだが、エアクリナーが汚れて詰まってしまう、サクションパイプが破れてしまうことが発覚。ツーリング区間以外では、取り去って走っていた。

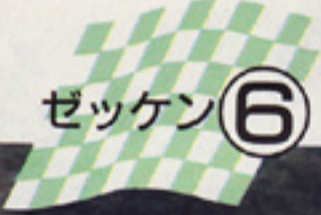


室内もエンジン同様、トヨタ製。シートはK1(角川の製)を安く買って、土屋圭市の類文字でシートのインのシートが入る。



換行パーツはさすがこれだけ。どうやら、ジムカーナ、ドリフト以外では使っていないらしい。

本当はGTRで出場予定だった圭オフィス。しかし、マシントラブル発生で急遽S14シルビアにチェンジ。  
仕様は、4400ccメインインジェクターをマインズVXスペシャルROMで制御、VXフィルター、マインズ強化アクチュエーター、ブリッツレーシングプラグなどでブースト1.0kg/cm<sup>2</sup>で3000psを発生。ホントに本当の定番ストリート仕様といえる。  
足まわりは圭オフィスのオリジナルのプロトタイプで、5段階調整式ショックに、スプリングはフロント2.5kg/リヤ2.6kg/4.9kgのバリアブル(ツインコイル式)を組み合わせたもの。基本的にはストリート仕様だが、筑波サーキットレベルまでパッチリ対応する。つまり、乗り心地対応のイケイケ仕様足まわりだ。  
「エンジンがライトチューンでしょ、だから、勝てると思ったらジムカーナだけ、このクルマだったらイケるはず……」とかなりリキが入っていたPマン北原だったのだが、結果は非情であった。



## トライアル"豪邸"GT-R

ドライバー:牧原道夫  
ナビゲーター:中村知二

気の入れようはナミじゃなかったマッキー牧原。中村知二ナビはトライアルの開発専門メカニック。その他、出演と文句言いを担当。



豪邸GT-Rも耐久性アップでMOJUパワーを使いこなせるゾ

マッキーのオモチャ、豪邸GT-Rも裏面に熟成を重ね、パワーはもちろん、耐久性に気を遣った仕様に変化してきた。  
エンジンには、油温対策として、オイルポンプ強化はもちろん、オイルの漏りを防止するための細かなパッドプレートやオイルパン内に設置したりと、信頼性のアップに努めた仕様だ。  
K27 3470 MOJUTAIPI  
を組む中速重視のエンジンは、

8000rpmリミット、ブースト1.3kg/cm<sup>2</sup>時に500psだが、この一番という時は、ブースト1.5kg/cm<sup>2</sup>、550psを発生し、9000rpmまでOKだ。  
オリンズベースの足まわりは、一段ごとの変化量の大きいトライアルスペシャル。広範囲にセッティングが可能なのだ。  
またトルク配分のコントロール、ウォーターインジェクション(インタークーラー、オイルクー



ラ)なども装備し、ロールバリアシートレスの2名乗車で公認を取っている。



ヘビーチューン下の風洞実験室内、データ集めのための時分走つてきたもあさけだ。



大型ターボインタークーラー、ウォーターインジェクション、インタークーラーとオイルクーラーなどを備え、温度対策はハッチリ。ボンネットのタクトもかなり効く。



# ブリッツ・セリカGT-FOUR

ドライバー:金子 豊  
ナビゲーター:宮田 昇

ゼッケン⑦



エンジンが、通常の通りの標準ノーマル。しかし、D16Vエンジンは2000ccの2000rpmまで回す。



同業サーキットのチューナーバトルに出場した金子さんがドライバー。ツーリング区間のドライブ入定として、ナビにはブリッツの企画店報から宮田くんが任命された。

## Daierセリカの兄弟分は ライトチューンで頑張った。

このセリカは、ほぼDaierセリカと仕様が同じだ。つまり、ごく一般的なライトチューンドってことになる。

Daierセリカと異なるのは、CPにアクセスの一般市販品をそのまま採用していることだ(Daierセリカは、数個のスペシャルROMをオーストラリアで試したからね)。そこに、リアライズマフラー、E-SSBCでブースト・2kg/cm<sup>2</sup>で約290psと、まったく



タカネ、ハンマー、ウマ等々、揃えあれば良いしと思うが、そこまでひどいトラブルがあると予想していただろうかな。金子さんのドライビングに……



センターコンソールのカーボンパネルが目立つが、室内はやはりかなりノーマル。

のストリートチューンドだ。

足まわりはTRDの試作品を使用。5段階調整だが、今回は最終2番のストリートセッティングで走り抜いた。しかし、生来のアンダーステアの性格はなかなか頑固なようで、ジムカーナやドリフトにはかなり苦労していた。  
235/45-17のW11スペースックR+ブリッツBRW-01ホイールでピットキメた外観はカッコ良かったんだけどね。

# マイنزVX GT-R

ドライバー:新倉通蔵  
ナビゲーター:軽部孝司

ゼッケン⑧



ノーマル然としたエンジンルーム。今回は新開発のスーパーアウトレット+フロントパイプも装備。コイツがよく効く。

ナビゲーターを務めるのは、軽部チーフディレクター。いつもショップにいるばかりなので、「これで外に行ける」と単純に喜んでいただけ、やはり辛い旅路も一部あったようだ。



## ノーマルポテンシギャルの究極の磨き上げチューン



ステージ別にベストなセッティングをねらって、サスキットもワンセット揃っていた。



LCDメーターやレカロSPD-Gを装備する室内は、シンプルで仕上げられ、やはりかなりチューナーの性格を反映するのだから、要領GT-Rには正攻法だ。

おなじみのマイنز・ニスモ改タービン装着のN1-GT-R。それほど派手なチューンではないが、ノーマルを磨き上げ、ポテンシャルを余すことなく発揮させるという、マイنزチューニングの最高峰に位置するクルマだ。タービンのバランス取りや、アクチュエーターの強化、スイングバルブ穴(排気パイパス)拡大など使用パーツはノーマルだが、細部に渡って「磨き上げ」を受け、伝家の宝刀(ボクの宝刀もイイモノありますよ、でも妻だけです)。新倉クラーゾ注。VX-R・ROMで総仕上げだ。これで、ブースト1・2kg/cm<sup>2</sup>時に500ps、ゼロヨンでは1・6kg/cm<sup>2</sup>かけて約520psを発揮させていた。

その他、ESTAサスキット、ダイレクトシフトなど、気になる部分はパッチリとアレシジツみ。しかし、ニスモのメタルクラッチが予想外の疲労度で、イッてしまったため(ゼロヨンでの負担のためか?)、惜しいところで、その実力は発揮できずじまい。

こうなったら、VXクラッチキットを作るしかない!!



オレ達も攻めろ!

サーキット別  
走り屋ランキング!

しかし、北国じゃあ、もう雪が積もる前に最後のアタック……、つなな季節だあね。ま、北国じゃなくても、もう、「うーさびさび」だけに、今月もお元氣な走り屋からのレポートを紹介しよう。

これは94年の3月の記録です。それまでは納車されてからサーキットを走ったことがなかったので、

安定走行!  
次は3秒アップが目指す!

このシャシャ馬ふりには面食らった。今では、タイヤもネクススを入れ、スプリングもH150になり、走行自体はかなり安定したのとなりまし。15秒台を目標に10月、11月の走行会で頑張ります。

と云う古市くんだけど、第2回の岡山ヒルクライム(もう7、8年前の伝説の競技)に出場しプレリウドでCクラスと位ということとは年齢もそれなりってこと?ま、新たなチューンアップや、自己記録を更新したらまた報告してくれせよ!

アンフィニRX-7



浪浪モーターランド

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
川島勝彦 (岐阜県)	スカイライン GT-R改	3845	前出
北岡弘三 (愛知県)	ランサーRSエポリューションI	3866	オーリンズNISPL、車高調 バックヤードCPU F12kg R12kg FマーベルタイプD Rプロジェクト2000番 純正リヤデフ強化 オリジナル604マフラー前後ストラットタワーバー パワーブローラー T-BAC III P-ZERO C クスコピロアッパー ウェットC-05
松岡 浩 (愛知県)	AE86	3895	F:TRD車高調 8kg R:TRD4・2kg GABスタビ RS-Rタコ足&マフラー アドバンA012R (185/60-14)
柳野光敏 (石川県)	CR-X (EF-7)	4094	フルノーマル アドバンA021R (185/60-14)
清水孝幸 (岐阜県)	MR2 (SW20)	4116	リヤのタイヤ&ホイールをFD3S純正の225/50-16 (エクスペディア)に変更
伊藤雄一 (愛知県)	インテグラ XSi	4153	エンドレス タイプM パワーフィルター
山崎俊博 (三重県)	シビックSiR II	4187	オーリンズショック クスコタワーバー 純正LSD リジットパッド RE510S 185/65-15

富士スピードウェイ

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
荒井康一 (東京都)	FC3S (2年式)	1分28秒	マツダスピード車高調 TRDバネF12kg/R10kg 強化ブッシュ エバウムサ シュロス 前後604マフラー パンスピードCP プースト0.8kg/gd BS810S (205/60-15) ウィンマックス295
荒井康一 (東京都)	シルビア Ks(S14)	2分2秒	ナルディ354 イマーシユパッド エバウムサ 他ノーマル

日光サーキット

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
菊地厚子 (東京都)	PS13シルビア	4854	前出

ミューサーキット

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
横尾謙一 (千葉県)	スカイライン GT-R	4846	HKSエアロキットオイルクーラー ヴェイルサイドCP OSツインプレート M8エアクリナー ビルシュタインCリンク ケージーエムF8kg、R8kg N10ローター プロジェクトN1-R トラスト規定TR-S804マフラー エンケイスポーツJ フアルケン04-VIII

T1サーキット英田

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
川島勝彦 (岐阜県)	GT-R改 スカイライン	1分52秒04	M'sクリーナー HKS754マフラー&インタークーラー チャージCPU 強化アクチュエーター EVC OSツイン 自作ショートアッパーアーム 特注オーリンズ改 F8kg R8kg 大容量ラジエーター オイルクーラー N10ローター KYB・SPLメタルパッド トーヨーNA-Gモデル 225/50-16 TSダンサー
豊田和久 (大阪府)	EF8シビック	1分52秒94	ヘッドNI仕様 Eikohコンピューター Eikohダンパー 2層ラジエーター 6点ロールバー 無限2ウエイデフ プロジェクト5000番 (FRとも)
堀田 章 (京都府)	ファミリア (BG8Z改 GTR)	1分52秒95	SZIGENマフラー マツダスピードラリーショック+KGM車高調 (前後10kg) F-CON EVC マツダスピードクラッチ フロントピロアッパーマウント
古市一伸 (大阪府)	FD3S	1分58秒37	HKSブローオフバルブ リーガルマフラー トラストフロントパイプ GREED CP RZ用ビルシュタイン パワーブロー GREXプロパッド (F)&エンドレスR (R) ブリッドティラス
佐本 淳 (兵庫県)	ダッチステルス R/T	1分58秒73	M'sパワークリナー ARCインタークーラー S ZIGENターボマフラー フロフブローオフ OSツイン シークレットスポーツスプリング KYB4層ショック HKSメタルパッド アルズプレーキホース EVC
真田幸昌 (兵庫県)	FC3S	1分58秒77	TD06-20G 3層インタークーラー 藤田844マフラー OSツイン 藤田車高調 EVC F-CON GCC-II arcスタビ 5Pロールバー 2サイクルオイル混合ガス

日本海周瀬サーキット

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
川島勝彦 (岐阜県)	スカイライン GT-R改	1分58秒37	前出
山中和明 (新潟県)	PS13シルビア	1分51秒13	Bee☆RCP ATS-BM車検対応マフラー 東名PBC 車検対応車高調 arcスタビ ピロテンション Fエンドレスローター ニスモLSD ニスモ強化ブッシュ エンドレスタイプRパッド ニスモオイルクーラー
堀谷幸雄 (新潟県)	NSX	1分52秒57	M'sパワークリナー フリッツCP バックヤード車検対応マフラー NSX-R純正スタビ、ソフトレバー、フロント補強フレーム

エビスサーキット西コース

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
八木田亮 (福島県)	ユーノスロードスター	1分11秒04	JAM車高調キットF:8kg R:7kg HKSパワーフロー マキシムワークスタコ足 JAMスポーツマフラー/クロモリファイホイル/スペシャルCPU MS4点ロールバー+JAMダイヤゴナル RE710 185/60-14
菊地厚子 (東京都)	PS13シルビア	1分11秒18	Fast スペシャルCPU TBO車高調キット:ショートストローク ウィンマックス Atomic 車検対応マフラー 強化クラッチ&カバー クロモリファイホイル オイルクーラー 大容量ラジエーター GTI-Rタービン等
鈴木康亮 (福島県)	KP61改	1分11秒22	4A-G ウェーバー454 タコ足 804マフラー F:TRD EP71用ショック 8kgバネ R:TRD8段 5kg バイブスタビ FRPボンネット
國府田英敏 (千葉県)	FD3S	1分11秒29	ナイトスポーツダンパー&スプリング (F:8.1kg R:5.8kg) マツダスピードLSD ナイトスポーツ検対応マフラー ボテンザRE710 (225/50-16)
薄井洋好 (福島県)	AE86トレノ	1分11秒55	タコ足 板東エアファンネル グランドスラムアルファオリジナルマフラー JAMプロキットF8kg R8kg プロジェクトム アドバンA021R185/60-14
戸辺 肇 (千葉県)	EG6シビック	1分13秒38	オイルクーラー 無限スタビ 無限LSD EF3用TEIN車高調 スプリングF13-5 kg R8kg エンドレスタイプR トランピオ185/60-14

エビスサーキット東コース

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
佐藤孝一 (福島県)	FD3S	1分58秒08	ジャムレーシング車高調 F10kg R8kg パワーフロー ジャムレーシングコンピューター アルティマ804マフラー ナイト5点ロールバー アドバンA028 R 225/50-16
川畑明明 (東京都)	スカイライン GT-R (BNR32)	1分58秒17	ニスモタービン ラジエーター&オイルクーラー 交換 アルミックCP Bee☆Rマフラー TEIN車高調+ARCスプリング (F12kg、R8kg) アドバンA029 R 225/50-16
小林雅英 (東京都)	スカイライン GT-R (BNR32)	1分58秒30	ニスモタービン JUN 1004マフラー JUNオリジナル TEIN車高調+F8kg、R8kgバネ アドバンクロノ/225/40-17 JUNオリジナルCP EVC SBC等
堀田和純 (栃木県)	スーブラ (JZA70)	1分57秒71	TEIN車高調+F18kg、R8kgバネ フアルケン05G 225/50-16 エンドレスタイプAパッド等
堀田吉光 (栃木県)	スカイライン GT-R (BNR32)	1分58秒55	メインZCP GET車高調+エビススペシャルF14kg、R6kgバネ ピロテンションロッド エンドレスタイプRパッド フアルケン05G 225/50-16 HKSマフラー N10ローター オリジナルウォーターブレイ等
高橋一之 (神奈川県)	サバンナRX-7 (SA22C)	1分58秒48	13Bブリッジ ウェーバー454 25514 マツダスピードクロ スミッション F・TEIN車高調+8kg、R・TRDハチロク用ショック+5kg 前後フルピロボール 7点ロールケーシングダンロップフォーミュラR185/55-15 後205/60-14
関宮 淳 (静岡県)	スカイラインGT-R (BNR32)	1分58秒37	ニスモタービン マインズCP 船本マフラー ニスモフロントパイプ ARCインタークーラー オーリンズショートショック+TEIN (F8kg、R7kg) バネ arcスタビ TSダンサー EVC ボテンザRE710 225/45-17
安藤大祐 (栃木県)	シルビア (PS13)	1分10秒58	自作インターパイプ オリジナル車高調 プーストアップ等
鈴木孝行 (群馬県)	180SX (PS13)	1分12秒00	不明なのでデータを送って下さい。
鈴木康亮 (福島県)	KP61改	1分12秒85	4A-G ウェーバー454 タコ足 804マフラー F:TRD EP71用ショック 8kgバネ R:TRD8段 5kg バイブスタビ FRPボンネット

仙台ハイランドレースウェイ

氏名	車名	タイム	主なチューニングポイント
水沼 元 (山形県)	PS13シルビアK's	2分11秒10	ビルシュタイン車高調 F:8kg R:8kg HKSパワーブロー EVC スタビ ブッシュ クスコLSD マインズCP ビックキャパキット ダンロップ88J GT-R用燃料ポンプ



# レイブロス・スーブラ

ゼッケン⑨

ドライバー: 斯波真澄  
ナビゲーター: 元木孝夫

斯波さんはレイズの社長。ナビの元木さんはレイブロスカーズの代表。ふたりの走れば思いものなんじゃないか?



STACKの中メーターを組み込んだメインパネルに注目。グローブボックスには、フリスト針、非加熱設計を備える。ハンドルの左側にのぞいているデジタルメーターはサーボのA/Fメーター。

## 派手なカラーリングが、キャノンポラーラーの心意気

ホイールメーカーのレイズだが、それとは別に、ホイール以外のパーツを開発する部門として生まれたのがレイブロスカーズだ。今回はそのレイブロスのデモカーともいえる、ド派手スーブラでエントリー。

エンジンに関しては基本的にノーマルだが、ノーマルのシーケンからシングル、K27 3470 MOJ仕様になっている。燃調はメインのみで525ccインジェクターを稼働させる。燃料ポンプはGTR用だ。



必要最小限のものをきれいにパッキングしてある。そして、携帯食料も欠かせない!



エンジンはK27シングル仕様。525ccのメインインジェクターをメインノックでユーザーの目で制御する。

E-15BCにより、最大フリストが1.4kg/cm<sup>2</sup>時に510psを発生。街乗りでは1.3kg/cm<sup>2</sup>で、下からパワーのある乗りやすい仕様とのことだ。  
足まわりはフォーミュラ用シヨックをベースにしたもので、これは圧縮側と伸び側の減衰力を別々に調整できるスグレ物。これにフロント20kg、リア12kgのスプリングを組み。  
室内もオリジナルシートやインパネなど、内外装ともに派手に決めた一台なのだ。



## 総括

### オレ達の大好きなフルマとの、本当の付き合い方を見つけ出そう!

# 果敢なチューナーと、みんなの応援でボクの夢は第一歩、ありがとう



みんなの応援、嬉しかった。

まずチューナーのみなさんに、一番にお礼を言いたい。いったいどんなイベントになるのか、不安な状況の中で、果敢にチャレンジしてくれて、ありがとう! このチューナー's・キャノンポラーラー——ワン・ラップ・オブ・ジャパンは、ボクが日本でやるにはどんなスタイルなら可能なのかとずっと考えていた結果なのだ。参考になったのは各地のサーキットを転戦するアメリカの「Lap of America」だけ。日本で一般公道を利用して競技を行うにはなぜか、度胸がいる。制限速度で走るのだから、別に問題はないんだけど、そこにはチューニングカーという問題や走る人の社会性という問題がある。

それでも、ボクには自分の愛車を思い切り走らせてみたい欲求と、それも自宅から一般の道走って、目的地まで走破したい、というレースとラリーを組み合わせたようなスタイルが夢だった。  
これが可能になるためには、やはりチューニングカーが公認されるような時代と走る側が社会性を意識しなければ不可能だった。サーキットはいけれど、スタートした以上、公道は一台一台監視するわけにはいかないからだ。  
OPTION創刊号は確かにボクひとりの非法法キャノンポラーラーだった。それから15年、チューニングカーの進歩とチューニング環境の広がり——これが今回の成功の鍵だった。15年の歳月がかかったわけだ。

それでもいろんな失敗があった。これを今後どう生かすか、読者のみなさんはどう思うか、2回目も可能なのかという基本に戻ってまで、じっくり考えてみたい。  
この記念すべき第一回の表彰式は'95年正月の東京オートサロン(1月6~8日/東京晴海)でやるから、みんなもぜひ参加してほしいね。それから、各ステーションで応援してくれた読者のみんな、ありがとう。  
福田大二郎

各ポイントを加算減算した総合順位は、次号で発表。さて、みんなが単位を当てるべし。正解者の中から抽籤で、キリハリクラブ抽籤賞の、ワン・ラップ・オブ・ジャパン記念賞、各地では絶対に手に入らない限定ステッカーと、各参加チューナーのステッカーをプレゼントしてあげよう。ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記して、「1月号ワン・ラップ・オブ・ジャパン総合順位」係まで。締め切りは12月20日だ。ちなみにカッコつけてる公道内井(笑)はプレゼント品ではありません。



San'ei group meeting

# 「大感車祭」

## in 大分阿蘇 レーシングパーク 盛り上がり報告!

日頃のご愛読に、  
多謝、多謝!

西日本パワー炸裂!  
ドリドリ、ドキドキ、ハツツラツ、  
みんなの元気で、  
クルマ遊びの楽しさ  
満喫だあ!

集まったり5000人/ 走ったり700人/ たぶん、業界初のチャレンジ、OPT誌発行の三栄書房が日頃のご愛読に感謝して、発行誌合同での読者サービス大イベントは、阿蘇山もたじろぎモンの大成功。走り満喫、コミュニケーションもバッチリの盛り上がりぶりで、感謝、感車、ホントにありがとう!

### RE雨宮superG7 by 雨宮勇美

どこに行っても人気No.1の雨宮さんも走る/ クルマはグリーンが眩しいsuper G7だ。



### マインズGT-R by 新倉通彦

「イヤ〜、キャンボンポールで風邪ひいちゃいましたヨ」と言うニヤ倉クラソー。しかし、いつもの緻密な走りは相変わらずだ。



### アートスポーツ カウンタック by 池沢さとし



GT選手権で活躍するカウンタックは、MINEのレースでのクラッシュ後の初試走なだけに、チューンドGT-Rにブンブン抜かれていた。でも、そのサウンドはさすがのひと言。さすがだ。



ドリフトらしきパフォーマンスで場内を大爆笑のワズに巻き込んだDel・OPTシルビア。

### OPTシルビア by Dai 穂田



V-OPTでおなじみ、ドラッグラー川崎選手はHKSスーブラで参戦。

### HKSスーブラ by 川崎哲也

GRReddy RXとの大バトルに、コーナーすべて横になりっぱなしの過激走りは、さすがプロ。切れた走りとはいくつかの走りをするのか。



### ヴェイルサイド・ エボリューションスーブラ by ターザン山田英二



### 大感車イベント・その1 OPTION誌

今回、パドックに展示されたチューニングメーカー&ショップのデモカー、全9台が激走! もちろん、ドライバーは各チューナー

大バトルあり、走るシケインあり!?  
ハラハラ、ドキドキの  
ゲストチューナー&レーサー操る  
デモカーの走り、気分はまさに  
チューナー'sバトルだ!

とターザン山田、イソノ且雄、ドラッグラー川崎、池沢さとし、そしてDai。  
が、ただ走るだけじゃ面白くない! とのドライバーの意見が一致。いきなりレースさながらの大バトルが展開されたのだ。  
ターザン山田・ヴェイルサイドスーブラVSイソノ且雄・トラストGRReddy RXによる、手に汗握る白熱バトルや、やっぱりホンモノはスグの池沢さとし・爆音カウンタックに混じり、OPTシルビア操る走るシケインシジイ・Dai(コーナー立ち上がりでサイドを引く、世にも珍しい覚えたてのドリフト、ただ今練習中)が同じコースで走っているもんだから、見ているコッチがドッキドキノ! こんなモノは、見たくてもそうそうには見れないだけに、儲け物!

### トリアルGT-R by 牧原道夫

「今日はセミスリム履いてんねんけど、まだ1度もセッティングしてへんから全然走られへん。あかんわ〜」と、マッキー牧原。



### トラストGRReddy RX by 小林「イソノ」且雄

RXは、OPTプロ・タイムとバトルのドライバーでもある目撃選手がドライブ・ターザン山田・ヴェイルサイドスーブラとの大バトルはまさに圧巻!

REPORT: 柴田ホエゾー/永光やすの

PHOTO: 川端 潔 (スタジオ・キース)/鳥山和彦/MPS

主催: 三栄書房 MOTOR FAN/AUTO SPORT/AS+F/OPTION/OPTION2/GENROQ/MOTO CHAMP/CHAMPU/AUTO SPORT VIDEO/VIDEO OPTION



OPTION 2月号は、95オートサロン事前情報でんご盛りノ  
OPT 2月号はいつもより2日早い12月24日に発売だ。

OPTならではの裏ネットを駆使してかき集めたスーパーマシン達に期待、大。



## 憧れのチューニング メーカー&ショップの オリジナルグッズ 大感車祭土産は コレで決まった!

ブリッツ、マインズ、トライアル、マツダスピード、トラスト、RE南宮、ヴェイルサイド、ティーズ、HKSの各ブースでは、オリジナルグッズ満載でファンサービス。運が良ければチューナー自身が店番してたりして、記念写真と握手大会もバッチリ、オマケも付いて儲け物?



雨さん、Tシャツにサイン下さい!



向井さん、シルビアの前で一緒に写真撮って下さい!



GPエクスプレス号ではGPCグッズのでんご盛り。ゲストの小林「イソノ」目録も大忙しでOPTステ交換のお手伝いだ。

## 大感車イベント・その3 AUTO SPORT 誌

同じくオートスポーツ誌では、カートコースでヤマハのFK-9 を使ってのタイムアタックも行われた。体感スピードも速いし、気分はもうナイジェルだぜ! オートスポーツは100%モータースポーツ気分なのだ。



パイロンスラロームや車庫入れを組み合わせたタイムアタック競技はオートスポーツのイベントだ。当然パイロントッチは減点となる。慣熟してしっかりコースを覚えて、コースを間違えないように走るべし。

## 大感車イベント・その2 MOTOR FAN 誌



モーターファン誌では読者のみんなに、会場でのタイヤテスト、1カ月のタイヤモニターレポートをしてもらうという企画が行われた。国内外のタイヤメーカーから13メーカーのタイヤが選ばれ、それぞれ異なるあつた読者が自分のクルマに装着してテストしたのだ。テスト内容はパイロンスラロームとダブルレインチェンジのふたつ。普段、頭ではわかっていようなタイヤの動きを実感だ。華麗な走りのレポートは、モーターファン誌をチェック!



## 大感車イベント・その5 GENROQ 誌

ゲンロクでは同誌連載のレスポンスのGENの作者、池沢さとし先生のサイン会が行われた。やっぱり、あの「サーキットの狼」の頃は、みんなスーパーカーに憧れたもんだね。その池沢さんがドライブする、GT選手権に参戦中のカウンタックの先導でレーシングパークの体験走行をするというメニューもあつたのだ。憧れに浸れる、ゲンロクのスーパーカー・ロマンチック!



グー……、疲れたウイ……、ホールド感モイ…… (ブリッド)。



## 大感車イベント・その4 MOTO CHAMP 誌



モトチャンプではミニバイクによる2時間耐久レースが白熱。バイクはチャンパー、ショップ、タイヤ、カウル等の交換が許され、ふたりひと組で2時間を走り抜くのだ。48台中半分の24台が決闘レースにコマを進め、熾烈なバトルが展開された。あつと、ライダーチェンジも勝負のカギになるのだ。2連続はチャンプでGOGO!

オメーらは何者だつての! 後らがあつた有名なバウ貴族。ナマで見ちゃって気色ワリ〜!!



## FTO by 島田親香

三菱より発売直後のFTOは、ラリースト島田選手がドライブ。フルマはノーマルだけど、注目のスポーツモードAT、INVECS-IIを目一杯使った走りは注目だ。



OPTパーキング号の前ではベネトンGALの撮影会。「カワイ〜、このクルマ!」と喜んでくれたかどーかは不明……。





シマのエアロが話題のドレスアップキングのブース。オリジナルのマフラーのバリエーションも増えたのでチェック。



名古屋のウィンレーシングは、人気の10セルシオと新作20セルシオを展示していた。



ラウンデル・マフラーがドレスアップの人気を呼んでいるアルテアのブース。



# BSS NEWS

# オートメッセも連日大盛況だった！

1月24日(金)〜26日(日)まで大阪・南港のインテックス大阪で第一回の「大阪オートメッセ'97」が開催された。新年早々オートサロンが東京で開催され、史上最高の規模と入場者数を記録したその興奮は、そのまま大阪へとなだれ込んだ感じだ。

出典規模などは小さいながらも地元大阪のメーカーやショップが中心になって盛り上げ、さすがドレスアップブームを引っ張ってきた大阪だけあって、有名チームの皆も駆けつけた。連日、多くの人を動員して終了してみたら15万1741人(事務局発表)だった。

1〜2月にかけては、クルマのイベントが目白押しだ。このあと1月31日(金)〜2月2日名古屋の国際展示場、2月9日(日)〜11日(火)大阪、2月21日(金)〜23日(日)福岡ドームで開催されたのである。



国産車だけでなく、ベンツのエアも好評のツアルドのスタッフ



オートサロンでお目見えしたV33DTMバーションが話題のトリアルのブース。



さすが地元大阪だけあって連日大勢のファンが見学に訪れたのがジャンクションのブースだ。



## オートメッセで会いました!!



左はファミリービリオドの皆さん。右は今西さん、高橋さん、外山さん。

## 半年かけて頑張ったオリジナル全塗が自慢



森満秀樹  
サン

森満さんのクラウンは、本誌3号1ページに掲載された。その後、自作のベンツ風のウイングをつけ、オリジナルカラーに全塗。この他にも手が入られている。ガンバレノ

## グレードアップしました!!

